

各施設長 殿
所属医療ソーシャルワーカー 殿

徳島県医療ソーシャルワーカー協会
会 長 郡 章 人
(公印省略)

第 10 回徳島県医療ソーシャルワーク学会
兼

2018 年度四国ブロック医療ソーシャルワーク大会の開催について (ご案内)

盛夏の候、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

社会保障に関わる制度の改変がめまぐるしい昨今、医療ソーシャルワーカーの皆様におかれましては、より深刻なケースに対応し、各地での地域連携や相談援助活動の中心となって力を発揮されておられることと思います。

さて、この度医療ソーシャルワークの専門性をより高めようとする取り組みを始めた徳島県医療ソーシャルワーク学会も第 10 回を数える事になりました。今年には四国ブロック大会と同時開催させていただけるようになり、記念大会が盛会なものになると期待しています。そして、第 1 回大会がこれまでの学会を形作ったように、今大会は今後の 10 年を見据えた私達の基盤を作る学術集会にしたいと考えました。テーマを「10 年先のソーシャルワーク実践を見つめる」として実践を言語化し根拠を持ったソーシャルワーク実践ができるよう理論を学んでいきたいと思っております。

皆様におかれましては公私共ご多忙の中とは存じますがご参加を心よりお待ちしております。

記

- ◆開催日 2019 年 1 月 26 日 (土) 13:00~17:00
※研修終了後徳島市内で懇親会を予定しています。
- 2019 年 1 月 27 日 (日) 09:30~16:00
- ◆テーマ 『10 年先のソーシャルワーク実践を見つめる』
- ◆演題 『ソーシャルワーク理論から実践を言語化する意義とは』
- ◆講師 久留米大学 文学部 社会福祉学科 准教授 片岡靖子 氏
- ◆開催会場 アスティとくしま ときわプラザ 研修室 1・2
(徳島県徳島市山城町東浜傍示1番地1)
- ◆参加費用 会員：3,000 円 非会員：4,000 円 学生：1,000 円 ※懇親会費(別途)：4,000 円
※参加費は両日参加でも、1 日のみの参加でも同額です。
1 日のみ参加の方は認定医療社会福祉士のポイントが取得できません。

◆日 程（予定）

1月26日（土）

12:30 受付
13:00 開会式
13:10 研修 第一部

「ソーシャルワーク理論から実践を言語化する意義とは」
（講義、演習などを取り入れた研修）

17:00 閉会
18:00 懇親会（会場：徳島市内）

1月27日（日）

9:00 受付開始
9:30 研修 第二部
12:00 休憩
13:00 演題発表
（発表10分、質疑応答5分）
15:45 総評、コメント、閉会式
16:00 終了

◆目 的

- ①ソーシャルワーク理論について学び直すきっかけにする。
- ②実践を理論付けしながら行える姿を目指せるようになる。
- ③実践を共有し、現場の取り組みを振り返り、協会員の研究意欲を高める。
- ④交流を深め、協会活動の発展を目指す。

◆参加申し込みについて

別紙参加申し込み用紙に必要事項を記入して、メールもしくはFAXにて申し込みをお願いします。
2019年1月7日を申し込み一次締め切りとします。

◆2日目の演題発表会の発表者を募集しています。

別紙申込用紙を送付致しますので多くの応募をお願いします。

以上

<お問い合わせ>

①事務局:参加・演題申込、協会に関するお問い合わせ

徳島県医療ソーシャルワーカー協会事務局(大森)

東徳島医療センター 徳島県板野郡板野町大寺字大向北1-1

TEL:088-672-1171 E-mail:renkei@higazitokusima.hosp.go.jp

②学会担当理事:学会内容等に関するお問い合わせ

徳島病院（地域医療連携室 MSW 津川）

徳島県吉野川市鴨島町敷地1354

TEL:0883-24-2161 E-Mail:tsugawa@tokushima-nh.hosp.go.jp

☆申込み先☆
東徳島医療センター 地域医療連携室行 088-672-4266

第10回徳島県医療ソーシャルワーク学会 2018年度四国ブロック医療ソーシャルワーク大会 参加申込書

この度医療ソーシャルワークの専門性をより高めようとする取り組みを始めた徳島県医療ソーシャルワーク学会も第10回を数えることとなりました。今年は四国ブロック大会と同時開催させていただける事になり、記念大会が盛会なものになると期待しています。今年のテーマは「10年先のソーシャルワーク実践を見つめる」として『ソーシャルワーク理論から実践を言語化する意義とは』を企画しております。ご多忙と存じますがご参加お願い致します。

- 【開催日】 2019年1月26日(土) 1月27日(日)
 【テーマ】 『10年先のソーシャルワーク実践を見つめる』
 【演題】 『ソーシャルワーク理論から実践を言語化する意義とは』
 【講師】 久留米大学 文学部 社会福祉学科 准教授 片岡 靖子 氏
 【会場】 アスティとくしま ときわプラザ 研修室1・2 (徳島市山城町東浜傍示1番地1)

1月26日(土)

- 12:30 受付
 13:00 開会式
 13:10 研修 第一部
 17:00 終了
 18:00 懇親会(会場は徳島市内で予定)

1月27日(日)

- 09:00 受付
 09:30 研修 第二部
 12:00 休憩
 13:00 演題発表
 15:45 総評、閉会式

認定医療
 社会福祉士
 認定ポイント
 申請中!!

参加費 (1日だけでも同額)	会員：3,000円 非会員：4,000円 学生：1,000円 懇親会費：4,000円 ※1日だけ参加の場合、認定医療社会福祉士認定ポイントの発行はできません。			
1日目(1/26) 懇親会	参加	・	不参加	
2日目(1/27)	参加	・	不参加	
申し込み締め切り	2019年1月7日 まで			
ふりがな		所属機関 (機能)	経験年数	年
氏名				

※お問い合わせは徳島病院 地域医療連携室 津川まで tell0883-24-2161

第10回 徳島県医療ソーシャルワーク学会
2018年度四国ブロック医療ソーシャルワーク大会

【演題及び抄録原稿募集要項】

徳島県医療ソーシャルワーク学会・四国ブロック医療ソーシャルワーク大会では日頃の皆さんの実践を報告する機会として実践報告を行います。

実践報告は自分自身の実践を振り返る時間になるだけではなく、今後、認定医療社会福祉士のポイントにも影響していきます。専門職として実践を客観的に省察し、言語化し、他者に伝えるということは発表者、参加者ともに大きな学びの場になる事と思います。

学会2日目の1月27日(日)に発表を予定しています。皆様から多くの実践報告をお申込みをいただきたく、お願い申し上げます。新人さんからのフレッシュな発表もお待ちしております！この機会にぜひ、実践報告に取り組んでみませんか？

抄録原稿提出締切日：平成30年12月14日(金)

1. 演題申込者及び発表者の資格

原則として徳島県医療ソーシャルワーカー協会会員及び各都道府県協会の会員に限ります。非会員の方は演題申込前に各都道府県協会の入会手続きを行って下さい。

2. 倫理上の対応及び表記

演題発表および抄録原稿につきましては、個人情報に配慮し且つ以下に留意した表記をお願いします。

- 1) 事例に使用する対象者の氏名はイニシャルでなく、A氏、B氏といった任意のアルファベットを用いる事。
- 2) 年齢は、70歳であれば『70歳代前半』とすること。
- 3) その他、個人を特定できる内容は、影響のない範囲で変更すること。
- 4) 文体は『…である』調とし、新かな、常用漢字、算用数字、慣用の単位符号を用いること。
- 5) 図、表及び写真には図1、表1及び写真1の番号をつけること。
- 6) 年号は原則元号とすること。例：昭和64年、平成24年。
- 7) 演題発表の参考文献の使用があれば、文献名、著者若しくは編集者、発行元を明記すること。

3. 演題申し込み及び抄録原稿の提出

- 1) 徳島県医療ソーシャルワーカー協会ホームページより様式1をダウンロードして使用し、下記の問い合わせ先までメールにてご提出ください。
- 2) 演題名、発表者及び所属、共同発表者、本文(1600字以内)をA4タテ/1頁で記述してください。本文は「目的」「方法」「結果」「考察」「結論」の形式でまとめて下さい。
- 3) 徳島県医療ソーシャルワーカー協会より採否を決定し、2018年12月末までにご連絡致します。

4. 発表方法及び時間

- 1) 発表形式はMicrosoftPowerPoint使用による口頭発表。発表10分、質疑応答5分を予定。
- 2) 発表順番その他必要事項は、実行委員より発表者へご連絡いたします。

<問い合わせ先>

〒779-0193 徳島県板野郡板野町字大寺字大向北1-1 東徳島医療センター 医療福祉相談室 大森(おもり)

TEL : 088-672-1171 メールアドレス : renkei@higasitokusima.hosp.go.jp

抄録規格

A4 タテ 1 頁のみ 用紙余白→上下 25mm ・左右 30mm
本文のフォント・字数→MS 明朝 10.5 ポイント・40字×40行
複数名による発表の場合は、筆頭発表者の氏名の前に○をつける

演題名：

発表者所属・氏名：

抄録本文

【目的】

【方法】

【結果】

【考察】

【結論】